

(報 告) 令和3年度事業計画について

令和3年度 事業計画

自：令和3年4月 1日
至：令和4年3月31日

令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症」により全世界規模で未曾有の影響を被った年度でありました。コロナ禍は想定外の事象でありました。

元年度末の「定期健診」「学校健診」「特定健康診査」の実施時期の猶予通達や期首の「緊急事態宣言」の発出は、私ども労働衛生機関にとりましても、事業年度のスタートから健診ニーズが激減し先行きも不透明な厳しい事業環境となりました。

当協会としても東京五輪開催を前提に策定した年間の健診運営計画が一転するとともに、その後も社会情勢が変化中、頻々と変更要請を受け、早急な対応が求められる状況でありました。

特に期の前半に集中した健診時期の延期要請は、事業運営に危機感を抱くほどの衝撃がありました。努めて平常どおり疾病の早期発見・重症化予防の社会的責務を果たすべく、全役職員が真摯に社会情勢の変化に向き合い、各々の職務を全ういたしました。

令和3年度は、前年度末から「新型コロナウイルス感染症患者（疑い患者）」と頻繁に接する機会のある医療従事者に対するワクチン接種が開始され、感染拡大防止の進展をみておりますものの、ワクチン供給の時期が不確実であることに加え、接種のオペレーション体制も確立されていない状況であります。全人口にワクチン接種を完了し完全に抑え込むには、今しばらく時間を要する見込みであります。

前年度から延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催要件として、世界規模で「新型コロナウイルス」の鎮静化に成功することが挙げられます。開催の可否も未だ不透明な状況ではありますが、当協会は東京五輪を開催する前提で年間の健診計画を立案いたしました。不本意ながら、開催が見送られる事態となった場合におきましても、一人の未受診者も出すことのなきよう、健診計画を再調整し全社を挙げて柔軟に対応いたします。

「新型コロナウイルス感染症」を収束させ、日常の生活と社会経済活動を取り戻すことは共通の願いであります。

一刻も早い収束をみるために、全役職員が公私とも感染防止に対する警戒を緩めることなく衛生面での緊張感を維持し、業務運営に邁進いたします。

コロナ禍により、健康診断の受診のタイミングを逸したばかりに、受診者の皆様が健康上深刻な事態となることを招かぬよう、定期的に良質な健診サービスを提供し、予防医学本来の目的を達成いたすべく、全役職員一丸となって取り組むことといたします。

1. 令和3年度各部計画

【渉外推進部】

当期は前年度から続く「新型コロナウイルス感染症」の収束が見えないなかで、第一に安全・安心な健診体制と品質維持、精度の高い健診結果を提供いたします。

「新型コロナウイルス感染症」の影響もあり、急速に挽回できる具体策が見出せない状況であります。中長期計画を策定し、これに基づき収入の増を図ることといたします。

その達成を実現するために当期は、以下の事項に重点を置き渉外活動に専念いたします。

- 1) 既存顧客の徹底保全に傾注し信頼強化に努め収入基盤を堅持するとともに、関連企業ならびに関連事業場の紹介による受託拡大を推進いたします。

前年度、協会全社を挙げて「コロナ対応」に柔軟にお応えしたことは、企業ならびに学校の健診担当者の方々から評価を得ることができました。担当者の方々から定期健診を然るべき時期に実施すべく腐心されておられることが、連日伝わってまいりました。

危機を共に乗り越えたことにより、信頼関係は一層強固なものとなりました。

当期も「第4波」があることを想定し、引続き受診日程・受診時間の拡大や変更要請に柔軟にお応えするとともに、関連事業所からの急な巡回健診の要請にも全力を挙げて対応しつつ、継続受託と受託拡大を図ります。

- 2) 板橋区保健所からの「新型コロナウイルス感染症健康相談等業務」を開始いたします。

板橋区民の皆様を対象とする「新型コロナ」に関する健康相談及び受診等に関わる電話相談に医療従事者が対応する「コールセンター」としての業務を受託いたしました。

区民の皆様の不安払拭の一助となると同時に、業務が殺到している保健所職員の方々の負担軽減に貢献いたすべく、運営を開始いたします。

コールセンター運営の経験者を配置し、瑕疵なく業務を履行する体制を整備いたしました。

- 3) 綿密な収支計算のもと、入札案件の継続受託を目指します。

官庁・地方自治体等の入札案件につきましては、例年通り収入予算からは CUT しております。しかしながら履行時期と「コロナ禍」の影響による業務の集中度を勘案しつつ、適正価額での継続受託を目指し業績の挽回を図ることといたします。

- 4) 当部門としての中長期的計画と実践計画の立案

既存顧客の徹底保全と信頼強化による受託拡大に傾注するとともに、今後求められるであろう健診ニーズを当部門が先行して提案してまいります。

部門内で中長期的な渉外計画を立案し、これを実践するために、保全型・提案型の役割

分担を区分し具体策の第一歩として取組むことといたします。

【特定法人部】

当部門が専任とする大手通信キャリアにつきましては「コロナ禍」の中、テレワークの導入が進行し、都近郊の巡回健診・地方拠点の従業員を対象とする「ネットワーク健診」両者ともに受診者数の減少が危ぶまれる状況でありました。しかしながら、健診担当者・従業員の皆様の定期健診を受診する意識は高く、例年どおりの受診率を維持いたしました。令和3年度は、関連企業からの受託が決定しており、受診者数の増加とこれに対応するネットワーク健診の委託機関の拡充に努め利便性の向上を図り、受診率の向上を目指します。

一方、大型健康保険組合から受託している「被扶養者」を対象とする「婦人科検診」や「歯科検診」につきましては、受診を手控える傾向が顕著でありました。

令和3年度におきましてもこの傾向は続くものと見込まれますが、被扶養者の皆様に対しても定常的に受診機会を提供いたすべく、部門を挙げて取り組みます。

【事業開発部】

当部は新規顧客・新規事業の開拓に戦略的に取組む部門として活動に従事し、事業収入挽回の牽引役としての機能を発揮いたします。

前期は銀行系リース会社を母体とするヘルスケア企業との協業により、巡回健診事業の新規受託に傾注いたしましたが、「コロナ禍」により大きな進展にはいたりませんでした。引き続き渉外活動に従事し新規受託を目指します。

当期のあらたな取組みとして、巡回健診の事業拡大のために『健診結果管理システム』の提供を行い、今後事業所が求められる「働き方改革への対応と健康経営優良法人認定取得」のための健診関連サービスの強化を図り、産業保健の推進に貢献して参ります。

【健診部】

当部は検診車とそれに随行する業務車両の運行・健診会場の運営マネジメントを担当する「健診業務グループ」と医療有資格者が組織する「医療技術グループ」の2グループで構成されております。当部は健診会場の運営に従事し、受診者の皆様と接する部門であります。令和2年5月1日、全衛連が公表した「健康診断時における新型コロナウイルス感染症対策」ガイドラインに従って、三密の回避・検査機器ならびに検診車の消毒を徹底するとともに、健診運営スタッフ自身も万全な感染防止対策を講じたうえで、業務に従事いたしました。

当期におきましても、受診者の皆様が感染の不安を抱くことのなきよう、あらゆる感染防止策を徹底するとともに皆様からのご意見に真摯に向き合い、受診環境の改善に努めることといたします。

当期は不本意ながら「with コロナ」の運営体制を取ることとなりますが、コロナ禍の収束をみるまでは、緊張感を持続することを第一として、引続き以下の事項について取り組むことといたします。

- 1) 高品質な健診サービスを提供するために、全衛連が主催する各種「講習会」に積極的に参加する機会を付与すべく所属員の業務スケジュールを調整するとともに、精度管理調査対応にも部門を挙げて取り組むことといたします。
- 2) 健診業務グループの課題としまして、特定のベテラン職員に業務負担が偏る傾向があります。ベテラン職員の健診マネジメントには絶大な信頼が置けますものの「働き方改革」の趣旨に反するものであります。後継者の育成も急務でありますので、業務習熟度の高いベテラン職員と若年職員とを同行させることにより、健診サービスの品質を維持しつつ、徐々に業務の負担の平準化を図るとともにグループ全体のレベルアップを推進いたします。
- 3) 医療技術グループの課題は、医療専門職としての技術向上意欲の停滞を改善することが挙げられます。巡回健診では、医療の最先端の技術・知識を求められる環境ではありません。しかしながら、診療放射線技師の「胃がん検診」、臨床検査技師の「超音波検査」の資格取得等、業務スケジュールを調整し前向きに取り組むことといたします。
- 4) 「新型コロナワクチン」接種のオペレーションが具体化しつつあります。その動向を注視し、「集団的予防接種」の一助となるべく、前向きに検討いたします。

【健診計画部】

当部は健診業務の精度を維持しつつ効率的な運営を目指して、健診個班のスタッフ編成や検診車のスケジュールを調整することを任務としております。

前年度は、「東京五輪」の延期をはじめとして「コロナ禍」の影響は大きく、年間の健診運営計画が根底から覆る状況となりました。

当期も「東京五輪」の開催を前提として年間のスケジュールを立案いたしました。不本意ながら「感染第4波」の襲来があった場合におきましても、これに対処すべく全力で取り組むことといたします。

適正なコロナ対策（消毒・誘導）要員と過剰な要員とを峻別し、安全・衛生に十分配慮

しつつ、企業ならびに学校の健診担当の方々の意向に沿うべく健診運営計画の変更にも対応いたします。

【情報管理部】

前年度は「健診処理基幹システム（サミッツ）」も安定稼働となり、完成形となりました。協会全体のシステム環境の整備・保全や健診会場の受付で利用するフロントPCの拡充等に努めた結果、一定成果を挙げました。

当期は、「マイナンバーポータル」から特定健康審査情報が閲覧できる仕組みが構築されますので、対応準備を進めております。以下の事項につきましても、継続的に取り組むことといたします。

1) 「ICカード健診」の拡大

学校健診からスタートした「ICカード健診」を企業健診に対応できるようシステムを改良し、前期から運用を開始いたしました。より多くの企業の皆様にご利用頂くべく汎用性拡大を図ります。拡大に成功することにより、健診結果報告書の精度を維持しつつ、データ入力の工程が大幅に短縮されるとともに、迅速な報告が可能となります。

2) RPA（Robotic Process Automation）化の推進

前年度後半に一部の機械的業務からRPAを導入いたしました。

当期におきましても積極的にRPA化を検討し、精度を維持しつつ所属員の事務負担軽減を図り、業務の効率化を推進いたします。

3) 健診結果報告書の早期納入を図るべく、画像データを速やかに読影医師に提供する手法について、健診運営スタッフと協議しつつ実現に向けて取り組みます。

【事務センター】

当センターは、健康保険組合の健診事業に関する事務代行業務を担うべく発足し、現状では健診関連事務の全てを受託するまで進展いたしました。

令和2年度は「健診結果標準フォーマット」の本格的な運用が開始されました。これにより年度末には受診者総数の80%のデータ一元化が完了する見込みであります。残る20%の受診者の委託先に対しましても早期導入の協力を求め、センター発足当初の目標を達成すべく取り組むことといたします。

令和3年度は、一般健診の「健診結果標準フォーマット」の浸透を推進するとともに

その発展型として特殊健診の「データ一元化」と「健診結果管理システム」の構築を実現いたすべく取り組みます。

巡回健診部門の「婦人科検診」・「歯科検診（チェック）」ともに一旦は受検者数が減少いたしました。しかしながら、グループ事業所の新規受託が決定しており、「コロナ禍」の鎮静化が進行するに従って回復基調となります。引続き巡回健診分野の業績回復を支援いたします。

【品質保証室】

当室は協会の全社的な品質の維持・向上を目的にリスクマネジメント・職員教育・内部監査の主導と外部監査対応・全衛連評価制度・個人情報保護法の遵守等の業務を担当しております。客観的な視点で、当協会の業務運営上の問題点を指摘し、改善策の立案とその後の実態まで追及管理することにより、高品質な健診サービスを提供いたすべく取り組んでおります。令和3年度は以下の事項に重点を置き、取り組むことといたします。

- 1) コロナ対応の教訓をもとに医療技術情報委員会に連なる「感染症対策部会」を設立し会務を主導いたします。
- 2) 前年度末の全衛連による「労働衛生サービス機能評価制度」の調査結果の指摘事項に対する改善策を立案し、その実効性を確認いたします。
- 3) 協会職員全体のレベルアップを図るべく教育計画を立案・実行するとともに、後継者育成の実践について、総務部と協力し取り組むことといたします。

【総務部】

令和3年度におきましても、巡回健診事業と事務センターの損益実績を分割管理いたします。巡回健診事業におきましては、受託内容が多様化してきておりますので、取引ケース毎に収支管理し、業況を開示いたします。

前年度に引き続き、当期も業務効率化に重点を置き以下の事項に取り組んで参ります。

- 1) 進捗に遅れのあった「勤怠管理システム」を6月から導入いたします。
働き方改革に対応した本システムの稼働に合わせ、現有の「給与システム」「人事システム」を連動させることで、昇級・昇格・異動等の人事関連データが一括管理できることとなり、大幅な省力化を実現することとなります。
- 2) 各市区町村では、行政手続きの電子化普及・義務化が進展しております。

当部門としても、法定調書・納税データ等の電子化に迅速に対応いたすべく環境整備を取進め、業務効率化・省力化を図ります。

2. 外部精度管理への参加計画

検査精度の向上を図るため、公益社団法人 全国労働衛生団体連合会（全衛連）が主催する精度管理調査に以下のとおり継続的に参加いたします。

- 1) 令和3年度胸部エックス線検査精度管理調査
- 2) 令和3年度胃エックス線検査精度管理調査
- 3) 令和3年度（第9回）腹部超音波検査精度管理調査
- 4) 令和3年度（第35回）労働衛生検査（鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査）精度管理調査
- 5) 令和3年度（第30回）臨床検査精度管理調査

3. 指導講習会、研究会等による労働衛生思想の普及啓蒙、並びに労働安全に関する指導・協力

- 1) 令和3年9月 「心とからだの健康推進運動」に参加いたします。
受診率の向上ならびに心身両面での健康づくり啓発活動を推進いたします。
- 2) 令和3年10月 「産業保健フォーラム IN TOKYO 2021」に協力いたします。
【主催：東京労働局、(公社)東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援センター】
健康測定コーナー運営の主体となって協力いたします。
- 3) 令和3年10月 「令和3年度 港地区健康と安全推進大会」に協力いたします。
【主催：東京労働局、(公社)東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援センター】
- 4) 令和4年3月 前年度開催が見送りとなった「江戸川健康づくりセミナー」の体験コーナーで骨密度チェック・脳年齢チェック・転倒リスク測定等を担当いたします。

【主催：江戸川労働基準監督署、江戸川健康づくり研究会】

- 5) 令和4年3月 一般財団法人健康医学協会が主催する「健康医学研究会」に協賛いたします。
当協会の有所見率の報告や特定保健指導・健診データの電子データ化等について報告いたします。

4. 研修会開催計画

- 1) 令和3年4月 新入職員個人情報保護研修・安全衛生教育研修会
- 2) 令和3年6月 第56回定時社員総会終了後、会員・顧客の皆様や協力機関の皆様を対象に労働衛生行政の動向・労働衛生関連事項等について講演会を開催いたします。(コロナ禍の動向によって見送りとなる可能性があります。)
- 3) 令和3年10月 新人研修会
- 4) 令和3年12月 第21回年末研修会
個人情報保護継続教育研修会
労働衛生関連講演会 全常勤役職員 外部協力機関等
- 5) 令和4年3月 第10回 管理職層研修会
- 6) 令和4年3月 健診実務者研修会 健診実務担当者 外部協力機関等

5. 関係団体への協力等

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会 理事 理事長 白川 毅
〃 事業部会委員 専務理事 石渡 佐恵樹

6. 外部研修会等への参加計画

前年度は、「コロナ禍」により全衛連が主催する大多数の研修会が見送られました。開催が見送りとなった以下の研修会に参加することといたします。
当期、オンラインによる開催であっても、積極的に参加いたします。

- 1) (公社) 全国労働衛生団体連合会主催
「保健師・看護師等研修会 (労働衛生コース)」
「腹部超音波検査研修会 (基礎コース)」
「健康診断機関連職員研修会 (基礎コース)」

「ストレスチェック面接指導研修会Ⅰ・Ⅱ（医師）」

「事後指導研修会Ⅰ・Ⅱ（保健スタッフ）」

「選別聴力検査研修会」

2) 中央労働災害防止協会

「産業保健指導者専門研修」

3) グループ内研修会

令和3年 4月 OZAK新人研修会

令和3年 10月 第28回「OZAK学術集会」

（コロナ禍の動向によって見送りとなる
可能性があります。）

7. 会議の開催計画

< 1 > 理事会 ● 令和3年5月下旬～6月上旬

令和2年度事業報告（案）承認の件

令和2年度財務諸表等及び公益目的計画実施報告書（案）承認の件

第56回 定時社員総会開催の件

任期満了に伴う役員選任の件

● 令和3年6月 第56回定時社員総会終了後

役付理事選出の件

顧問再任の件

● 令和3年10月下旬

令和3年度上期事業報告について

令和3年度下期事業計画（案）ならびに修正予算（案）承認の件

● 令和4年3月下旬

下期業績見込・年間業績見込

令和4年度事業計画（案）・予算（案）承認の件

< 2 > 第56回 定時社員総会 令和3年6月下旬

【報告事項】

1) 令和2年度事業報告

2) 令和3年度事業計画について

3) 令和3年度収支予算について

【決議事項】

- 1) 令和2年度財務諸表等及び公益目的支出計画実施報告書承認の件
- 2) 任期満了に伴う役員選任の件

< 3 > その他の会議

- 常勤理事会
 - 各部報告会
 - ライン会議
 - 品質保証委員会
 - 1) CS・ES委員会
 - 2) リスクマネジメント委員会
 - 3) 医療技術情報委員会
 - 4) 感染症対策部会
 - 安全衛生委員会
 - 機関誌編集委員会

 - 個人情報保護委員会
 - 精度管理部会
 - 自主監査部会
- 毎月
- 適宜